

## 植物を育てよう

3年	スキャナーも活用できる
	植物標本の作製

おし葉標本が植物標本の基本ですが、その作製には時間と労力がかかるため、葉を直接コピーしたものや図書カバーでシールしたものなども教材として利用されてきました。最近ではデジタルカメラの利用も増えてきましたが、影ができてしまったりなかなか思うような写真が撮れない場合もあります。そこで、ここでは失敗することの少ないスキャナーを用いた方法も紹介します。



### 野外で



#### 植物の採集

- ・採集する前に、植物が生えている様子をよく観察する。
- ・花や実をつけている植物を採集する。
- ・根からていねいに採集する。
- ・ビニル袋に入れて口をとじ、植物の水分が逃げないようにする。

### 室内で

目的に応じて、標本を作製する。

おし葉標本

スキャナーの活用

コピー機の活用

など

## 1 おし葉標本の作製

### (1) 植物を乾燥させる方法

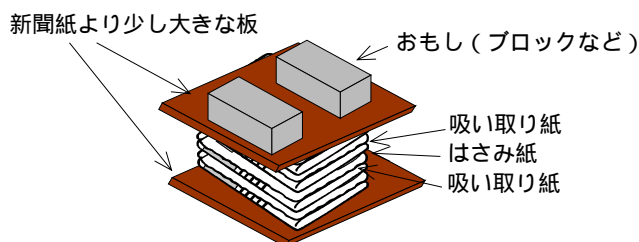
植物の形を整えて、新聞紙を二つ折りにしたものにていねいにはさむ。

植物をはさんだもの「はさみ紙」と新聞紙を10枚程度重ねた「吸い取り紙」を交互に重ねる。

すべての「はさみ紙」と「吸い取り紙」を重ねて、その上と下を板ではさみ、上におもしを置く。

はじめの2～3日は、1日に1回以上「吸い取り紙」を取り換える。

2週間程度で乾燥する。



### (2) 台紙への固定

できあがったおし葉の表と裏をよく見て、その植物の特徴があらわれている方を表にする。台紙の上に植物を置き、位置を決定する。

幅5mmに切った上質紙のテープに合成のりをつけ、植物を台紙に固定する。

じゃまにならないところにラベルを貼り、必要事項を記入する。

ラベルには 科名，種名，採集場所，採集日，採集者名は必ず記入する。  
使用する目的に応じて，採集地での観察結果なども記入するとよい。

## 2 スキャナーを利用して

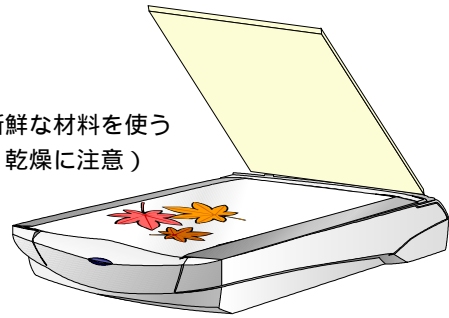
### (1) 方法

テキストや図表などを読み込む方法と同じ方法でよい。

#### 留意点

- ・ 樹木の葉などは、湿らせた脱脂綿で表面のほこりを拭き取るときれいな像が得られる。
- ・ 葉は表面と裏面の両方を行うとよい。
- ・ スギのように厚みのあるものは、スキャナーの縁に1cm角の角材を置いて行う。
- ・ スキャナー読み込みの解像度は、利用目的に応じて設定する。

新鮮な材料を使う  
(乾燥に注意)



### (2) 活用

- ・ 校庭の植物を観察する際の補助資料として利用できる。



葉の付き方もわかるように



1枚のシートに複数種の葉

- ・ スキャナーの解像度を高く設定すると、かなりの倍率の画像が得られる。

